

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	政策総務部 企画政策課		
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり		
分野別方針	土地利用・都市基盤	実施計画事業	東大跡地・国立小児病院跡地の検討(No.39)		
予算等事業名	まちづくり総合調整事業(公共施設再配置・町有地有効利活用検討委員会)				
目的	平成26年度から暫定土地利用が始まっている東京大学二宮果樹園跡地及び国立小児病院跡地の利活用について、公共施設再配置・町有地有効利活用等検討委員会を設置し、町有地有効利活用計画を検討する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設再配置・町有地有効利活用検討委員会の開催</li> <li>・ 町有地有効利活用等計画策定</li> <li>・ 東大跡地暫定土地利用(貸し出し)</li> </ul>				
根拠法令・条例等	—				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	計画策定委託料のほかは、会議の報酬のため、今後の会議の開催方法等は検討できる。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	委員会の統合や会議の開催方法など、効率化を検討できる。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	
	事業の効率化を目指し、今後の委員会の統合や会議の開催方法などを検討する。	

## 総合評価

実績	平成28年度に策定した実施計画策定方針に基づき、平成29年度に二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画を策定した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	会議開催回数、計画策定				
中期(29年度)目標値	計画の策定方針の決定		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	策定方針の決定	実施計画の策定			

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		20,054	17,977	10,054	9,834		
財源内訳	一般財源	1,500	1,215	3,352	3,282		
	国庫支出金	18,554	16,762	5,027	4,917		
	県支出金			1,675	1,635		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町の今後を見据えた計画を策定する必要がある。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町の今後を見据えた計画を策定した。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 平成28年度の策定方針を踏まえ、実施計画を策定した。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 地方創生推進交付金を活用し、戦略的に町の計画策定を進めた。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 計画の進行管理を行うとともに、引き続き事業を推進する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	政策総務部 企画政策課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり				
分野別方針	土地利用・都市基盤		実施計画事業	地域公共交通計画推進事業(No.41)				
予算等事業名	交通計画推進事業							
目的	路線バス・コミュニティバス・デマンドタクシーの再編・見直しや新たな交通の導入可能性を検討し、日常生活の移動手段が確保されている環境づくりを進める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通推進協議会の運営</li> <li>・地域公共交通の運行(見直し、再編、実証運行)</li> <li>・デマンドタクシーの運行</li> </ul>							
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律</li> <li>・道路運送法</li> </ul>							
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/>	一部委託あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	本年度で事業が一段落するため、削減等の検討が可能。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	本年度で事業が一段落するため、事業の効率化の検討は可能。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 さらなる事務の効率化を目指し、執行部署を検討する。		

## 総合評価

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年9月末でデマンドタクシーを休止した。</li> <li>・コミュニティバスの再編を行い、平成29年10月から新ルートの運行及び割引制度(割引手形)の導入を行った。</li> </ul>		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	コミュニティバスの乗車人員・デマンドタクシーの乗車人員の動向		
中期(29年度)目標値	100人/日		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	41人/日	48人/日	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		1,357	1,201	1,834	1,559		
財源内訳	一般財源	1,357	1,201	1,034	782		
	国庫支出金			800	777		
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	<b>【説明】</b> 人口減少等により、いわゆる交通弱者が発生しているため、町が実施することは妥当。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	B
	<b>【説明】</b> 地域等が必要を感じ、独自に交通対策を実施することが最良と思われるが、意識醸成を図るためにも、今は町が行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	<b>【説明】</b> 乗車人員は依然として低い、公共交通の必要性についての意識が高まっている地区があり、一定の成果が出ている。平成29年度の再編により、今後の利用が改善されることが期待できる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	<b>【説明】</b> 地域公共交通事業を維持するための費用がかかっているものの、再編を行ったことにより改善した効果が期待できる。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	<b>【説明】</b> コミュニティバスの再編の状況を踏まえつつ、引き続きより効率的な事業展開を目指す。	
	<b>【理由】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	<b>【今後の方向性】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	政策総務部 企画政策課		
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	総合計画推進事業(No.83)		
予算等事業名	総合計画策定推進事業				
目的	総合計画の効果的・効率的な推進を図るため、行政評価に基づく進行管理を実施する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政評価による進行管理</li> <li>中期基本計画の推進</li> <li>後期基本計画の策定</li> </ul>				
根拠法令・条例等	-				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	プロポーザルが不調に終わったため、全体スケジュールが遅れた。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	29年度と30年度の2か年契約のため、来年度の経費の削減は困難。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	策定方法や会議の開催など、効率化に向けた検討は可能。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				B
	【説明】 評価方法等を見直し、有効性と効率性の向上を検討する。				

## 総合評価

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度に策定した中期基本計画と平成29年度の実施計画に基づいて事業を展開した。</li> <li>後期基本計画策定に向け、基礎調査、中期基本計画における各種施策の実績評価・検証、町民意識調査、ワークショップを実施した。</li> </ul>				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	総合計画の進捗率				
中期(29年度)目標値	-				【目標値の根拠または数値で表わせない指標】
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
	-	-			
各施策の目標値等はあるものの、全体としての目標値は設定できない。					

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	1,361	1,361		
財源内訳	一般財源	0	0	1,361	1,361		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1)公費を投入して実施することが妥当な事業か A:妥当 B:どちらかといえば妥当 C:妥当ではない	A
	【説明】 町施策・事業の効率的・効果的な運営のため、必要である。	
妥当性	(2)町が主体となって実施する必要があるか A:町が行わなければならない B:町が行ったほうがよい C:委託等の必要がある	A
	【説明】 町施策・事業の効率的・効果的な運営のため、必要である。	
有効性	成果が上がっているか A:十分成果が上がっている B:成果が上がっている C:成果が上がっていない	A
	【説明】 行政評価に基づく進行管理を実施し効率的な運営をしている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A:適切である B:改善の余地がある C:効率的ではない	A
	【説明】 職員のできるところは、委託等に頼らず職員が行い、経費を節減している。	
総合評価	A:妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B:妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C:事業全体を見直す必要がある D:事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 評価方法を見直すなど、より効率化するための内容を検証し後期基本計画の策定につなげていく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 評価方法等を見直し、有効性と効率性の向上を検討する。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 現在の中期基本計画の内容を検証した上で後期基本計画を策定し、引き続き総合計画の効果的・効率的な推進を図っていく。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		<b>担当部課等名</b>	政策総務部 企画政策課	
<b>基本構想</b>	戦略的行政運営	<b>重点的方針</b>	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進	
<b>分野別方針</b>	自治体経営	<b>実施計画事業</b>	総合戦略推進事業(No.84)	
<b>予算等事業名</b>	総合戦略推進事業			
<b>目的</b>	「まち・ひと・しごと創生法」(平成26年法律第136号)に基づき、国並びに県の総合戦略を勘案して「二宮町人口ビジョン」並びに「二宮町総合戦略」を策定し、効率的・効果的な行政運営を図る。			
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合戦略の推進</li> <li>・外部有識者等による評価委員会等の開催</li> </ul>			
<b>根拠法令・条例等</b>	まち・ひと・しごと創生法			
<b>体制</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
			③ 未実施	
<b>②、③に対する理由</b>				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか				
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
<b>理由</b>		既に外部評価委員の報酬しかないため、削減は困難。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか				
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
<b>理由</b>		内部評価の実施方法等を見直すことにより、検討は可能。		

<b>中間評価</b>	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	<b>A</b>
	<b>【説明】</b>	
	より効率化に向けた検討をしつつも、事業を推進する。	

## 総合評価

<b>実績</b>	平成28年度事業について外部有識者等による評価を行った。町の実情を踏まえ施策内容や評価方法の見直しを行った。			
<b>中間評価との相違点</b>				
<b>事業指標(数値指標)</b>	総合戦略における重要業績評価指数			
<b>中期(29年度)目標値</b>	-	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>		
<b>実績値</b>	平成28年度 -	平成29年度 -	平成30年度 -	各基本目標および施策に対する目標は設定できるものの、全体の目標値は設定できない。

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		66	60	60	60		
財源内訳	一般財源	66	60	60	60		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町施策・事業の効率的・効果的な運営のため、必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町施策・事業の効率的・効果的な運営のため、必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 具体的な目標値の設定などで、より積極的な事業展開が見込まれる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 職員でできるところは、委託等に頼らず職員が行い、経費を節減している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 総合戦略に掲げる目標を達成するため、各施策・プロジェクトを効果的・効率的に推進している。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	



# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	政策総務部 企画政策課		
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	行政改革推進事業(No.85)		
予算等事業名	行政改革推進事業				
目的	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4次二宮町行政改革大綱・推進計画の推進</li> <li>・第4次二宮町行政改革推進計画進捗管理</li> <li>・第5次二宮町行政改革大綱・推進計画の策定</li> </ul>				
根拠法令・条例等	—				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	次期行政改革大綱の策定に向けた作業が遅れている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	既に外部評価委員の報酬しかないため、削減は困難。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	会議や評価の実施方法等の見直しにより、効率化を検討可能。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 外部委員の在り方を見直すなど、より効率化するため一部を改善し推進する。	

## 総合評価

実績	平成28年度の事業実績を見直し、より効果的、効率的な事業展開を推進した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	行政改革推進計画進捗率の向上				
中期(29年度)目標値	-				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】 各事業ごとの目標設定はしているものの、計画全体の目標設定はできない。	
	-	-	-		

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0	0	0		
財源内訳	一般財源	0	0	0	0		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町施策・事業の効率的・効果的な運営のため、必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町施策・事業の効率的・効果的な運営のため、必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 具体的な目標値の設定などで、より積極的な事業展開が見込まれる。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 予算措置なく運営している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】 取組み実績などを踏まえ、より効率化するための内容を検証し、第5次二宮町行政改革大綱の策定につなげていく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 進捗状況を踏まえながら、遅延している項目についても、各事業の課題を整理し、計画の推進を図る。	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 現在の行政改革の内容を検証した上で、第5次二宮町行政改革大綱・推進計画の策定を行う。	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		<b>担当部課等名</b>	政策総務部 企画政策課	
<b>基本構想</b>	戦略的行政運営	<b>重点的方針</b>	4-2 戦略的な自治体運営及びスリムな財政運営の推進	
<b>分野別方針</b>	自治体経営	<b>実施計画事業</b>	行政改革推進事業(No.85)	
<b>予算等事業名</b>	産学連携			
<b>目的</b>	行政改革を進めるとともに、民の力を活用した行政施策の推進、経営感覚豊かな行政運営の推進により、効率的で質の高い行財政運営を行う。			
<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川大学との連携事業</li> <li>・新たな連携の可能性の検討</li> </ul>			
<b>根拠法令・条例等</b>	—			
<b>体制</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
<b>②、③に対する理由</b>	神奈川大学との連絡調整がうまくいかず、計画より遅れている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
<b>理由</b>	すでに予算がない。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
<b>理由</b>	効率化できるほどの事業を実施していない。				

<b>中間評価</b>	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	<b>B</b>
	<b>【説明】</b>	
	全体スケジュールが遅れているため、アプローチを含め一部を改善し推進する。	

## 総合評価

<b>実績</b>	・神奈川大学の学生の就業体験(インターンシップ)の受け入れ及び「神奈川大学でキャンパス体験と自然観察(3月24日(土))」を実施。 ・産業能率大学及び町観光協会と連携協力に関する協定を締結し、ポールウォーキングツアー(11月25日(日))を実施。			
<b>中間評価との相違点</b>	・産業能率大学及び町観光協会と連携協力に関する協定を締結			
<b>事業指標(数値指標)</b>	行政改革推進計画進捗率の向上(連携事業数)			
<b>中期(29年度)目標値</b>	2	<b>【目標値の根拠または数値で表わせない指標】</b>		
<b>実績値</b>	平成28年度 —	平成29年度 2	平成30年度	行政改革で設定した成果指標

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		—	—	0	0		
財源内訳	一般財源			0	0		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 民の力を活用した行政施策の推進するために、必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 民の力を活用した行政施策の推進するために、必要である。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 連携事業がまだ少ないものの、大学の専門性を活かした効果的な事業を運営している。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 費用をかけずに事業を運営している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 引き続き大学などの関係団体との連携体制を構築しながら、新たな連携事業を検討し、効率的で質の高い行政運営を目指していく。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	政策総務部 企画政策課		
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	安心して住み続けられる地域再生事業(No.9)		
予算等事業名	安心して住み続けられる地域再生事業(公共施設再配置)				
目的	町有地の利活用や公共施設の適正な配置及び維持管理について、検討委員会において検討する。また、地域課題を解決するため、地域住民を中心とした協議会を設立し、地域づくりとコミュニティ活動を支援する。				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再配置基本計画策定</li> <li>・実施計画策定</li> </ul>				
根拠法令・条例等	—				
体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	計画策定委託料のほかは、会議の報酬のため、今後の会議の開催方法等は検討できる。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる	<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	委員会の統合や会議の開催方法など、効率化を検討できる。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】	
	事業の効率化を目指し、今後の委員会の統合や会議の開催方法などを検討する。	

## 総合評価

実績	平成28年度に策定した実施計画策定方針に基づき、平成29年度に二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画を策定した。				
中間評価との相違点					
事業指標(数値指標)	経費の減少				
中期(29年度)目標値	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】				
実績値	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成29年度の計画策定をするため、現段階で「経費の減少」を指標にした目標設定ができない	

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		20,054	17,977	10,054	9,834		
財源内訳	一般財源	1,500	1,215	3,352	3,282		
	国庫支出金	18,554	16,762	5,027	4,917		
	県支出金			1,675	1,635		
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 町の今後を見据えた計画を策定する必要がある。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 町の今後を見据えた計画を策定した。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	【説明】 平成28年度の策定方針を踏まえ、実施計画を策定した。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 地方創生推進交付金を活用し、戦略的に町の計画策定を進めた。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 計画の進行管理を行うとともに、引き続き事業を推進する。	
	【理由】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	
	【今後の方向性】 ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入	

# 基礎評価シート(平成29年度実績)

		担当部課等名	政策総務部 企画政策課	
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり	
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	広域行政推進事業(No.91)	
予算等事業名	広域行政推進事業			
目的	広域的な行政施策や取組みを必要とする行政課題等の情報交換及び連絡調整を図り、広域行政を推進する。			
内容	・広域行政の推進			
根拠法令・条例等	—			
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか	
<input type="checkbox"/>	① 検討できる
<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難
理由	すでに各広域行政の負担金しか計上していない。

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか	
<input checked="" type="checkbox"/>	① 検討できる
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難
理由	葛川サミットの在り方など、効率化の検討は可能。

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	【説明】	
	葛川サミットなど、一部今後について検討する必要がある事業がある。	

## 総合評価

実績	消防の広域化、子育て施策の広域化など、事業の効率化、有効化が促進された。また、県への要望活動なども継続して実施している。		
中間評価との相違点			
事業指標(数値指標)	広域協議会の設置数		
中期(29年度)目標値	10	【目標値の根拠または数値で表わせない指標】	
実績値	平成28年度 9	平成29年度 9	平成30年度

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		58	58	59	59		
財源内訳	一般財源	58	58	59	59		
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	<b>【説明】</b> 広域連携を図るための各種協議会の負担金は必要である。	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	<b>【説明】</b> 行政課題の解決に向けた協議会であるため、町が行う必要がある。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	A
	<b>【説明】</b> 広域連携により自治体間の交流だけでなく、事業分野の協力・連携が図れている。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	<b>【説明】</b> 事業等の開催には県振興協会助成金等活用し、効率的に運用している。	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	<b>【説明】</b> 行政課題の解決、事業の効率化など、効果は大きく、今後も広域化による可能性が大きいいため、継続して連携していく。	
	<b>【理由】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 広域での行政課題を解決するために今後も連携が必要になるが、一部組織のあり方について検討していく必要がある。	
	<b>【今後の方向性】</b> ※総合評価がB、CまたはDの場合のみ記入 葛川サミットと秦野市・中井町・二宮町・大磯町行政推進協議会は構成団体が重複しているため、引き続き組織のあり方について検討が必要。	